

## 受賞を契機に新たに取り組んでいること

三輪緑山住宅地は野村不動産(株)による昭和60年の開発当初から、先ず戸建住宅を対象に管理組合が設立され、翌年にはマンション住民なども含めた住民による自治会が組織されました。

以来、この二つの組織が並存しております。それによる小さなトラブルは若干ありましたが、その都度解決され今日に至っております。

### 1. まちなみ委員会の設立

平成19年1月に受賞を契機に管理組合と自治会とで当地区のまちなみ景観向上という視点で、この両組織の間に、「まちなみ景観委員会」を設立しました。

管理組合から4名、自治会から3名、事務局は管理組合事務局員の1名が兼務です。委員長は管理組合理事長が兼務です。

委員会は昨年5月から年度末までに16回開催し、精力的に課題を検討し、7項目の提案として纏め上げました。

#### 1) 7項目の提案

最初にこの委員会のミッションを決めました。

「20年後、50年後でもさらに美しい三輪緑山を維持向上させていくにはどうしたらよいだろうか？」です。

そのような視点での住民への提案事項として、二瓶正史先生のご指導も仰ぎ、次の7項目を設定しました。

##### ① 「我が街 三輪緑山」の街づくりパンフレット作成

町田市で条例化されている当地区の「地区計画制度」やこの住宅地独自の「街づくり憲章」などをこの機会にミッションに則り検証し、住民にパンフレットとして配布する。

##### ② 静かで安全な道路環境をつくる

住宅地の幹線道路、住宅地内道路の速度制限を見直し、高齢化が進んでいる住民の安全な歩行の確保を図る。

③ 地域清掃グループの結成・定期活動（自治会の清掃活動とは別に）

軽度な清掃、除草活動グループによる当地の美化活動。景観の向上と共に参加者の健康増進とコミュニケーションを図る。

④ ドングリの木の記念植樹

受賞記念樹としてドングリの樹を種から育て成長を見守ることや、近くで沢山拾える実で遊んだりすることを子ども会などと共に進める。

⑤ 三輪緑山を花と緑で彩る

住宅地内の公共緑地などに季節ごとの花を植えて、花を通じて地域コミュニケーションを深める。地域内にあるスポーツ広場の金網フェンスを利用したハンギングバスケットなども考える。

⑥ 我が家の樹の登録

庭園外にあるシンボルツリーとは別に庭園内にある自慢の樹や思い出に樹等を2, 3本登録してもらい、街全体で大切にしていこうという発想。

⑦ 並木道の景観向上

幹線道路の並木道にある街路樹の根元の植栽柵に統一した植栽を施し、景観の向上を図る。

2) 7項目についての取り組み

既に実際の活動を開始しているものやボランティアメンバーを募集中などあり、進捗度はまちまちです。出来る事から進めてゆくことにしておりますのでこれで良いと考えております。

既に進んでいるのを例示しますと③はリーダーも決まりボランティアも集まり活動を始めています。

⑤は新しい発想で、偶々街の中心にスポーツ広場があり、その周りの金網のフェンスを利用して、住民の有志にハンギングバスケットにお花を植えて持参していただき5月に2週間ほどフラワーフェスティバルを執り行います。

既に「まちなみ景観委員会」には沢山の登録希望が寄せられております。水遣りや管理は原則個人としておりますが、これもボランティアがやってくれることを期待してのものです。

### 3) 現時点での成果と課題

去る4月5日に三輪緑山管理組合主催で「国土交通大臣賞受賞記念行事」を執り行いました。

先ず、平成20年1月に自治会と共同で全住民（マンションも含む）を対象とした大臣賞受賞記念のキャッチフレーズを募集しました。予想以上の応募があり、この中から最優秀作品を選びました。



「景観を人と緑が守る街・三輪緑山」というものです。住民である主婦の作品です。

景観に対する啓発も目的として設置したものです。当日は自治会会長他の住民にもお集まりいただき、除幕式も行いました。この費用の一部に受賞時に使途自由として頂いた20万円を使わせていただきました。ここであらためて御礼申し上げます。

さらに4月20日の三輪緑山管理組合通常総会におきまして「まちなみ景観委員会」の平成19年度の活動報告、平成20年度の活動計画案も発表し承認されました。

お陰さまで二瓶先生のご講演と相俟って住民の景観に対する意識は従来と比較してより高まったと思っております。

これから残された一年の間に何とかして前記の提案項目を総て実行に移してまいりたいと考えております。

## 近い将来取り組むべき課題

国土交通大臣賞受賞を契機として始めた上記の委員会活動を永続的なものとして残したいと考えております。その為には継続的に機能できる組織を考えなければならないと思っております。これから約一年をかけて三輪緑山管理組合、三輪緑山自治会双方が受け入れることが出来る組織を検討してまとめます。